

# 南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 28 週      2025 年 7 月 7 日      ~      2025 年 7 月 13 日

## 今週のコメント

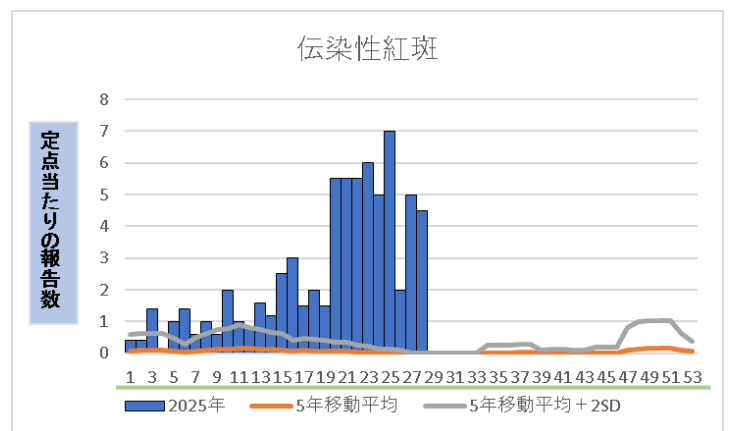
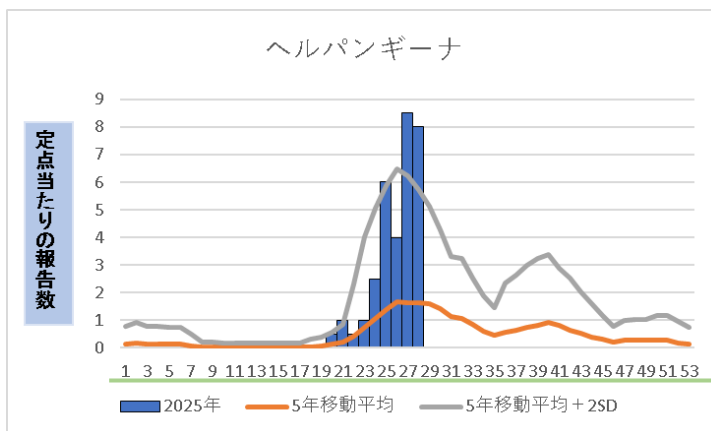
南丹保健所管内では、ヘルパンギーナと伝染性紅斑(リンゴ病)が  
警報レベル継続中です。

京都府内では、伝染性紅斑(リンゴ病)が警報レベル継続中です。

### 2025 年第 28 週の報告です。

- ヘルパンギーナの定点あたりの報告数は南丹 8.00(前週 8.50)、京都府 2.54(前週 1.45)となっています。
  - 伝染性紅斑の定点あたりの報告数は南丹 4.50(前週 5.00)、京都府 1.54(1.98)となっています。
  - 感染性胃腸炎の定点あたりの報告数は南丹 2.50(前週 2.50)、京都府 6.21(前週 5.10)となっています。
  - 全国的に百日咳(全数報告疾患)の流行が継続しており、府内でも報告が続いています。第 28 週においては南丹保健所管内で 0 件(前週 2 件)、府内で 41 件(前週 24 件)報告されました。長引く咳には注意し、乳幼児は予防接種を確実に行いましょう。
- 京都府の百日咳に関する情報は[こちら](#)を確認して下さい。  
百日咳に関する情報は[こちら](#)を確認して下さい。

## 今週のグラフ      (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



※横軸は週数 縦軸は定点あたりの報告数を示しています

- 『5 年移動平均』は、過去 5 年間の平均値の変化を表しています。
- 『5 年移動平均+2SD』は、過去 5 年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約 95%がこの線より下に収まるとされる基準です。

### ヘルパンギーナとは…

乳幼児を中心に、主に夏に流行する感染症です。

症状は、感染してから 2~4 日後に、突発の発熱に続いて、喉に痛みと水泡が現れます。発熱は 1~3 日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを引き起こします。2~3 日以内に回復することが多いですが、合併症として、熱性けいれんや脱水症、髄膜炎、心筋炎などを引き起こすこともあり注意が必要です。

感染経路は、主に経口感染、接触感染、飛まつ感染です。急性期には、のどからウイルスが排泄されるため、咳をした時の飛まつにより感染します。また、急性期から回復期(発症後 2~4 週間程度)にかけて、便からウイルスが排せつされるため、便がついたおむつや下着などに触れた後は、しっかり手洗いをしてください。

予防には、日頃からの“手洗い、うがい”が大切です。流水と石けんでしっかりと手洗いをしましょう。

ヘルパンギーナについてより詳しく知りたい方はこちらのページもご覧ください。

[ヘルパンギーナ\(厚生労働省\)](#)

各定点把握疾患 発生状況(南丹管内)

|               | 警報レベル |     | 注意報     | R7.28w       |     | 前週定点<br>(参考) |
|---------------|-------|-----|---------|--------------|-----|--------------|
|               | 開始    | 終息  |         | 定点当たり<br>報告数 | 前週比 |              |
| インフルエンザ       | 30    | 10  | 10(流行1) | 0.00         | →   | 0.00         |
| 新型コロナウイルス感染症  |       |     |         | 2.25         | ↗   | 1.50         |
| RSウイルス感染症     |       |     |         | 0.00         | →   | 0.00         |
| 咽頭結膜熱         | 3     | 1   |         | 1.00         | ↗   | 0.50         |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 8     | 4   |         | 2.50         | ↗   | 1.00         |
| 感染性胃腸炎        | 20    | 12  |         | 2.50         | →   | 2.50         |
| 水痘            | 2     | 1   | 1       | 0.00         | ↘   | 0.50         |
| 手足口病          | 5     | 2   |         | 1.50         | ↘   | 2.00         |
| 伝染性紅斑         | 2     | 1   |         | 4.50         | ↘   | 5.00         |
| 突発性発しん        |       |     |         | 0.00         | ↘   | 1.00         |
| ヘルパンギーナ       | 6     | 2   |         | 8.00         | ↘   | 8.50         |
| 流行性耳下腺炎       | 6     | 2   | 3       | 0.00         | →   | 0.00         |
| 急性出血性結膜炎      | 1     | 0.1 |         | 0.00         | →   | 0.00         |
| 流行性角結膜炎       | 8     | 4   |         | 0.00         | →   | 0.00         |

参考資料: [京都府感染症情報センター](#)

急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスは、流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、未知の呼吸器感染症発生時に迅速に探知する等の目的で第15週より開始となりました。

| 週      | 定点当たりの報告数 |
|--------|-----------|
| R7.25W | 50.75     |
| R7.26W | 62.00     |
| R7.27W | 67.00     |
| R7.28W | 55.50     |
| R7.29W | 53.25     |
| R7.30W | 72.25     |
| R7.31W | 64.00     |
| R7.32W | 59.00     |
| R7.33W | 70.25     |
| R7.34W | 62.75     |
| R7.35W | 72.50     |
| R7.36W | 69.25     |
| R7.37W | 67.00     |
| R7.38W | 62.50     |

○南丹保健所管内第28週報告数は250件(定点当たりの報告数:62.50)でした。

➡ [京都府の情報はこちら](#)

最新情報は下記のリンク先でご確認ください(関連リンク)

- ・[京都府感染症情報センター](#)
- 更新時期: (原則) 毎週木曜日 14 時 前週分の状況を更新
- ・[感染症の情報\(国立感染症研究所\)](#)